

令和5年11月21日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 森田 洋一 様

議会報告会 3班（市民経済委員会）

班長 渡辺 仁二
植田 和子
うた 桜子
戸辺 滋
石原 修治
藤井 俊行
青野 直

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、御報告します。

記

- 1 日時
令和5年11月12日（日）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場所
北部公民館 講義室
- 3 欠席議員
なし
- 4 来場者数
市民来場者37人、議員1人、職員1人 合計39人
- 5 報告内容
「令和4年度決算報告について」
「江戸川台駅東口再整備について」

6 意見交換内容：テーマ「北部地域の諸課題について」

（江戸川台東在住・女性より）

近頃の江戸川台は活気がなく、若い世代を呼ぶことが必要と感じている。そのような中、幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園の問題が挙がっている。幼稚園協議会で廃園か継続か、多くの意見があった上で答申が出されたが、教育委員会としては廃園の方針で動いていると思われる。教育委員会の中で、十分な検討がなされていないのではないかと。

（議員）

今後の動きとして、パブリックコメントが実施され、その後に議案として上程されるものと思われる。パブリックコメントに多くの皆さまの声を寄せて頂きたい。

（議員）

同園は素晴らしい教育環境を有しているが、幼児教育・保育の無償化の影響などもあり、残念ながら定員が満たされていない現状にある。今後の方向性について、地域の皆さまはどのように考えておられるのかお聞かせ願いたい。

（居住地不明・女性より）

私立と公立の幼稚園に勤務経験があるが、公立は幼児の教育要綱に則り、子ども達が伸び伸びと成長していると感じている。江戸川台も若い世帯が転居してきており、世代交代の過渡期にあることをアピールすると共に、小学校・幼稚園・保育園が集積している教育モデル地域として、積極的にアピールして頂きたい。

（西初石在住・男性より）

ジェット口跡地にはどのような施設が入るのか。また、出張所が移設された場合、その跡地の活用はどのようになるのか。

（議員）

ジェット口跡地には当初、障害者施設が入るとの話があったが、今は明確になっていない。また、現出張所の建物付近は駅前広場になると思われる。

（議員）

本年4月1日付の広報ながれやまには、ジェット口跡地に障害者センターが入るとされていたが、先の議会で一旦白紙といった旨の

答弁があった。江戸川台東自治会から要望書の提出があったことを受け、市民検討会が設置され、こちらでの議論をもとに、どこまでの公共施設を集約するのか、検討がなされるものと捉えている。

（居住地不明・女性より）

子どもの教育の入り口は幼稚園であり、非常に重要な場であると捉えている。また、幼児教育支援センター附属幼稚園は、他にはない素晴らしい施設があるということを更に認識して頂きたい。

（議員）

かつて、流山市内には3カ所の公立幼稚園があったが全て廃園という話があった。そこで会派を超えて議会も動き、今の状況がある。今回も、議会としてしっかり協議して参りたい。

（東深井在住・女性より）

息子が中学校の職場体験で現附属幼稚園に伺ったことが契機となり、良い経験を積ませてもらえたことで今春、小学校の教員となった。素晴らしい幼稚園が廃園の危機にあると知り、幼稚園協議会も傍聴したが、他の父兄もこの事実がほぼ分かっていない。我が子ではないが、この話を聞いて卒園生もここに来てくれている。

（卒園生2人より）

先生も素晴らしく、いろいろなことを教えてもらった。廃園になると聞いて悲しい気持ちとなった。ぜひ、残してほしい。

（東深井在住・男性より）

（決算審査の）指摘要望事項の中で、多くの会派から旧・割烹新川屋に関する要望が挙がっている。今後、周辺の観光地化も含め、どのような整備がなされるのか。

（議員）

改修に多額の費用が掛かることが判明し、計画は止まっている。今後も注視して参りたい。

（議員）

決算審査でも各会派から様々な質疑があった。今後も現地視察等も実施し協議していききたい。

（江戸川台東在住・女性より）

ジェット口跡地の活用について、市民検討会が開かれているが、方向性が見えてこない。議会として執行部に任せずに、住民の声を聞いてほしい。

（議員）

北部地域の議員たちでこれまでも執行部との意見交換を重ねてきた。そこで、我々が要望してきたのが、「地域住民の意向を反映してほしい」ということだった。もし、何か要望があれば遠慮なく申し出てほしい。

（江戸川台東在住・男性より）

ジェット口跡地の活用について、自治会として要望書を提出するなど、市とこれまで話し合いを進めてきたが、どの公共施設を集約するかが明確になってこない。庁内でも協議をされてきたようだが、議会としてももう少し後押しをしてほしい。

（議員）

我々としても市民検討会を傍聴するなどし、協力して参りたい。

（江戸川台西在住・男性より）

ある雑誌でも流山市が紹介され、おおたかの森周辺の整備や学校の不足等に注目が集まっているが、自宅周辺は側溝の蓋も掛かっていないような状況にあることや、雑木林が伐採されて宅地が開発され、新川耕地も物流施設となるなど、都心から一番近い森のまちと言いながらも過剰にPRしているように思える。このような課題も考慮して頂きたい。

（居住地不明・男性より）

江戸川台駅東口周辺再整備計画にしても、附属幼稚園の廃園に関する議論にしても、住民にその経過など知らされていないケースが多い。市民検討会での議論も、ただ話を聞いたというだけで終わりにしないで頂きたい。また、議員の方々も、今回の議会報告会での参加者の想いを、しっかり反映して頂きたい。

（議員）

しっかり取り組んで参りたい。

7 参加者から議会への要望

6に記述の通り

8 所感

(渡辺 仁二)

市民経済委員会での議会報告会ではテーマを「令和4年度決算について」と「江戸川台駅東口再整備について」、そして、「北部地域の諸課題についての意見交換会」の3つで行いました。

北部地域で関心が高かったものはやはりジェット口跡地をどうするのか？といった話題が多いが、流山市幼児教育支援センター附属幼稚園への意見も沢山あり、幼稚園施設の今後を市民の皆様が大変気にしていることがわかりました。その他、旧・割烹新川の活用についても質問があり、利根運河を含めた利活用を考えてほしいとの声がありました。

通常であれば10から20名ほどの参加者であるが、今回は40名近い参加者になり、多くの声を地域の方々から聞くことができました。昨今の議会報告会では、市政への意見よりも誹謗をしたり参加者自らの意見を発表する場となりやすい状況がありましたが、議会報告会は議員と市民の皆様が互いに声を聞くことが本来の姿だと実感しました。

(植田 和子)

改選もあり、1年ぶりの議会報告会は地元の北部公民館でした。今季一番の冷え込みにもかかわらず、多くの市民の方にご参加いただきました。講義室のイスも足りなくなるほどの超満員。こんなに市民の方の参加が多かった議会報告会は、3.11の放射能汚染後の報告会と、平成24年の水道水からホルムアルデヒドが検出され断水となった翌日の議会報告会以来です。

関心が高かった理由は、幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園問題が急浮上したから、でした。市長は、正式な発表を一切していない中で、着々と廃園に向けて、それもかなり強引なやり方で進めていることについて、多くの市民から怒りの声があがりました。江戸川台幼稚園の卒園1期生の方から中学生の卒園生の女の子達まで「無くさないでほしい」という意見で溢れていました。

ここ数年は、参加者も少なくなっていて、正直、議会報告会の役目はもう終わりなのかな、とと思っていましたが、市民と対話す

る機会が保障されている議会報告会は、やっぱり必要だと確信しました。特に、市議会主催の議会報告会は、会派を超えてみんなで情報共有できる貴重な場であることと、議会活動をしていく上で大事な場であることを再認識しました。

(うた 桜子)

今回は37名の参加者で、幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園を心配する市民を中心に意見交換が行われました。多くの方がそれぞれの想いを発言し、卒園した中学生も勇気を振り絞って意見を述べる場面もあり、老若男女が参加する大変有意義な意見交換会となりました。

(戸辺 滋)

休日の貴重な一時にも関わらず、37名という多くの方に議会報告会にご参加いただきました。中学生の方をはじめ、幅広い年齢層の方々に参加していただけたことも大きな特徴であり、改めて議会報告会を開催する意義を感じました。その一方で、当初の参加見込みを大幅に超えたことにより、座席や配布資料の不足が生じてしまい、参加者に多大なご迷惑をお掛けしました。今後は様々な事態を想定し、より入念な準備が必要であると思いました。

意見交換の場では、幼児教育支援センター附属幼稚園の存続に関することや、ジェット口跡地の活用及び今後の方針について多くのご意見が寄せられました。事業の進め方に疑問を感じるといった声や、北部地域の今後の発展に期待を寄せる声など様々でしたが、発言の度に拍手が起こるなど、参加してくださった皆さまをはじめ、地域住民の皆さまが主体者となって、より良い北部地域にしていきたいとの前向きな姿勢を感じました。

また、時間の都合により、発言の機会を失ってしまった方もおられたのではないかと思います。ご記入していただいたアンケート用紙も精査し、皆さまの声を今後の市政に反映できるように努めていきたいと思っております。

(石原 修治)

北部公民館で開催された今回の議会報告会は37名の市民の方が参加され、北部地区においての関心度の高い内容の意見交換となった。項目的には「幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園の方向性について」や「江戸川台駅東口再整備について」のご意見が大部分を占めていた。他に自治会からの地域課題もあり、その内容は行政の進め方や対応、説明責任に疑問を呈するものであった。

私たち議員はこの内容を真摯に受け止め、委員会での検討のみならず、会派・議会としても協議が必要であると考え、大切なことは現状をさらに良くするために、方向性と対策をしっかりと検討・協議した上で、市民への説明・報告責任をしっかりと果たし、市民との共有が重要であることを再認識できた報告会であった。

(藤井 俊行)

今回は37名の参加者となった。以前、有害物質が利根川水系に流出したことで断水となった翌日の議会報告会のような関心度の高い議会報告会となった。

市民からの多くの質問や意見は、幼児教育支援センター附属幼稚園廃園に対する反対意見で、教育員会の進め方や行政の判断方法に疑問の声が多く出た。

また、江戸川台駅東口周辺再整備事業の意見としては、ジェット口跡地に対する行政の進め方に疑問を感じている市民が多かった。市の丁寧な説明に対して信頼性が薄いようだ。地域の議員による意見交換の場の充実も重要で、掘り下げて説明を聞く必要があると感じた。

今回の報告会に参加いただいた市民は、独自の意見を強く発言したり、他の方の意見を阻んだり、持論だけを述べるというような方が参加していなく、参加者のマナーの高さを感じた。今後は、各議員の一般質問の推移を見ながら議員として何ができるか、取り組んでいきたい。

(青野 直)

11月12日、午前10時から11時半、北部公民館にて、令和4年度の決算報告、江戸川台東口の再開発、地域との意見交換会で議会報告会がありました。

中でも、一番の行政課題である幼児教育支援センター附属幼稚園の廃園計画については、地域住民からご意見が多くありました。議会に正式に報告がない論点が市民から提案された次第です。議会への上程の議案は、条例改正案として、すでに市長は廃園を決定、教育委員会は廃園決定と発信をされています。もともと、公立幼稚園は東幼稚園、流山幼稚園、江戸川台幼稚園と3園ありました。東幼稚園は土地契約が満期を迎えたことで廃園するという論点であったため賛成したものの、地元の流山幼稚園については、老朽化が著しく廃園という論点であったため、地域の声を聞いて継続すべきだと主張しました。

しかし、議会での議論の中で、江戸川台幼稚園は研究材料として残すことを条件に、東幼稚園、流山幼稚園2園の廃園を認めることになりました。江戸川台幼稚園は定員割れが続いており、教育委員会議では幼稚園廃園の議題では、教育委員6人中4人が賛成、6人中2人が反対となっています。今後は、当局の見解を確認しながら議会でしっかり議論し賛否を明らかにしていきたい。

行政運営の意思決定が日々行われる中、地域にとって重要な論点で行政とは異なる方向性を選択する場合があります。様々な論点を公の場で議論できる議会の役割は重要であり、住民の声を議員7名が同時に聞ける議会報告会は重要であることから、議会報告会は今後も継続していくことが重要だと考えます。